

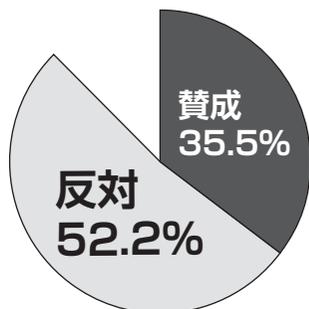
憲法 9 生かした 平和外交こそ

世論と運動で

安倍改憲に終止符！

いま戦争の惨禍と反省から生まれた憲法9条を守るのか、改憲を許して再び「戦争する国」にするのかの歴史的岐路に立っています。安倍首相は改憲に前のめりですが、改憲勢力が3分の2を割った参院選後の世論調査でも改憲反対が多数です。

安倍改憲に世論は反対



共同通信17、18日実施

侵略戦争と植民地支配への反省を

安倍改憲の狙いは、海外での無制限の武力行使を可能にすることです。すでに、安保法制=戦争法が施行され、自衛隊が米軍とともに海外で戦争する体制づくりがすすんでいます。国民の世論と運動をさらにひろげ、安倍改憲策動に終止符を打ちましょう。

北東アジアの平和構築やアジア諸国民との友好と良好な経済関係にとって、日本政府が過去の侵略戦争と植民地支配の過ちと向き合い、真剣に反省する立場にたつことがいよいよ重要です。



日本共産党

政権構想 志位委員長呼びかけ

市民と野党で話しあおう

日本共産党の志位和夫委員長は8日東京都内で講演し、野党の政権構想についての話し合いを呼びかけました。

市民と野党の共闘はこの4年間紆余曲折を経ながらも大きく発展。先の参院選では改憲勢力を3分の2割れにまで追い込みました。共闘の今後の課題について志位氏は、政権合意をつくることだとして、「市民と野党が一緒になって、安倍政権に代わる野党の政権構想を主題にすえた話し合いを開始しよう」と呼びかけました。



講演する志位和夫委員長

安倍政権は退場 野党連合政権を

安倍政権のもとで、一握りの大企業と富裕層に巨額の富が蓄積し、国民のなかには貧困と格差が広がっています。この否定できない現実を前に安倍首相は「アベノミクス」すら語るができなくなっています。外交も、対米では追随、対口、対韓では八方ふ

さがりです。国民に語るべきものをもたない政権には退場してもらいしかありません。市民と野党の共闘を発展させ、安倍政権を倒し、新しい日本をご一緒につくりましょう。

日本共産党

近畿民報

2019年8月 No.3(第378号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。